

平成28年度第9回移動市長室会議録

(平成29年2月18日)

1 日 時：平成29年2月18日（土曜日）19時～20時15分

2 場 所：二日市コミュニティセンター

3 出席者：

『筑紫野市内五中学校PTA役員（さくらの会）』

筑紫野中学校PTA

平木会長 など（6人）

筑紫野南中学校PTA

前田会長 など（3人）

筑山中学校PTA

小田会長 など（7人）

二日市中学校PTA

番園会長 など（4人）

天拝中学校PTA

手塚会長 など（6人）

『筑紫野市』

藤田市長、上野教育長、宗貞企画政策部長、森田秘書広報課係長、

末吉秘書広報課主査、

4 内 容：懇談

○（事務局） ただいまから、平成28年度第9回、通算65回目の移動市長室を始めさせていただきます。昨年までは、さくらの会の皆様と藤田市長との交流会を開催してまいりましたがけれども、このたび移動市長室という形での開催をさせていただくことになりました。PTA活動の現状を伺いながら、PTA活動の魅力をテーマに意見交換を行っていきたいと考えております。

本日の懇談は、お手元の次第のとおり進めさせていただきます。なお、本日の懇談内容は、会議録を作成し公表させていただきます。撮影しました写真や動画は、市のホームページ、広報紙に掲載させていただきますので御了承ください。

それでは、初めに藤田市長が皆様に御挨拶を申し上げます。

○（藤田市長） 皆さん、改めまして、こんばんは。御紹介いただきました筑紫野市長の藤田陽三でございます。どうぞよろしくお願いたします。

会が始まる前に、今、宗貞のほうから話がありましたとおり、前回までは懇親会・懇談会でございます。今回が移動市長室として初めてのこのさくらの会との会合なのですが、今年に入って9回目、通算して65回という歴史といいたいでしょうか、回を重ねた移動市長室でございます。

したがって、最初に皆さん方に質問しますけれども、昨年までのさくらの会に御出席をなさった方を聞くのか、今回初めてという人を聞くのか、どちらでしましょうかね。

では、今回初めて参加された方、ちょっと手を挙げていただけますか。はあ、なるほど。はい、ありがとうございました。さくらの会にも出ただけけど今回も出たという人もいらっしゃるかと思います。

次に進みたいと思いますが、今日東京都で食中毒が発生しておりますね、517名。我が市も9600食をつくっていますので、びっくりしたわけですが、これちょっと皆さん方関心あるでしょう、ですね。かわいい子どもさんたちが給食、学校に行ったときは必ず食べていますね。そういうふうな事件が今日あったところです。

それはそれとしましてですね、私一言あいさつをさせていただくことになっておりますので、このさくらの会の幹事校であります平木会長を初め、各中学校のPTAの役員の方には、いろいろ御多忙の中にこの移動市長室に参加をしていただきまして、このことについてまず御礼を申し上げておきたいと思っております。ありがとうございます。

未来の宝である子どもたちの健全育成のために、日ごろより御尽力をいただいている皆さん方の活動や課題を今日お伺いしながら意見交換をさせていただき、今日は上野教育長

も後から紹介しますが出席させていただいておりますが、今後の教育行政についての参考にしたいたいこのような思いがございます。どうぞよろしく願いしておきたいと思っております。

移動市長室ですから、まず私の出番はここが一番だろうと思っておりますので、現在の市の取り組みを少し話させていただきたいと思っております。よろしいですか。

昨年4月に議会で、私の市長就任のときに掲げた5本の柱、ようするに藤田陽三市政はこういうことを重んじてやりますよというやつですね。これは、まず最初は行財政の改革ですね。それからやっぱり地域の活性化は雇用、産業・雇用の創出、ここでやっぱり働く場所をつくるというのが一つあります。それから市民の生活をまもる、何といたしまして共助社会をつくる、そして子どもたちを含めて未来をつくる、これが5本の柱ですね。

それを昨年の4月に、筑紫野市第五次総合計画という形で議会の議決をいただいて、今その歩みを始めたところです。これは第一次から、今が第五次ですから、ずっと二次、三次、四次そういうふうな、いうならば市役所のそのときの首長の政策をこういうふうにやっっていこうという、国でいう憲法、市の憲法ですね。この方針に従っていろんなことを進めていく。もちろんこの5本の柱には28の施策、それから122の基本事業、そして700の実施事業、その中に教育も入っているのです。さっき言った5本の柱が、そういうふうなずっと裾野を広げてでき上がっている市の憲法であります。それに従って教育行政も進めていくということになります。

そういうことでございますが、私は今市長になって6年目です。ですから二期目に入っているところですね。この二期目のうちで何を重点施策にするかということも、やっぱり議会で決めるわけです。

もちろん提案は私がするのですが、一つ目には、昭和11年に今の市庁舎が建っています。今の市庁舎に来られた方ありますよね。たこ足でプレハブです。昭和11年に建っていますから、計算してみたらわかると思うのですが81年経っている庁舎です。もうぼろぼろですね。それで耐震化審査も受けられない。受けられれば補修するのですが、それを受けて審査をしてくれるところがない、そういう庁舎です。ですから、私はこの二期目に入って、この二期目の中で庁舎を建てかえたいと、こういうことを一つ思っております。

それから、筑紫のほうも筑山中学校や筑紫野南中学校がいらっしゃいますが、筑紫駅西口の区画整理というのをやっています。これは平成9年からやっていますから、やがて20年経つ事業ですね。

それから、中学校でいったら二日市中学校かな、二日市の中心部を流れている高尾川・

鷺田川、これが毎年氾濫するのですね。この前の平成26年8月22日の豪雨災害では、1メートル60浸かったのですね。毎年ですから、もう雨が降るころになると、あそこの店舗の人たちは1階の荷物を2階まで上げる、その作業が大変です。それでも1メートル60浸かると大体1階はもう水浸し、泥だらけになりますね。そういうことでありますので、これを何とかやっぱり浸水が起こらない川にしたいというのが三つ目。

それから四つ目は、さっき言いました共助社会づくりで、大事なことは、やはり今82行政区がありますけれども、その行政区の一つの自治組織だけで安全安心を守る、あるいは少子高齢化社会ですから高齢者の見守りが結構今あるのですよね。徘徊者、あるいは行方不明、そういう人を一つの自治会だけで探す、あるいは見廻っても、これなかなか見つけることができませんし、今もう本当に災害が多いでしょう。昨年なんかも非常に多かったのですが、そういうことでコミュニティをつくろうと。今7館目の二日市東コミュニティセンターが去年の10月にできたのですが、そういうふうなコミュニティをつくって共助社会づくりをしようと、これが四つ目。

それと後は、五つ目は、南北には主要幹線が通っているのです。天神まで十二、三分でいきますからね。ところが、東西に道路網が形成されてない、これが我が市の欠点、アキレス腱。ですから、この交通の形成計画を昨年つくっているのですね。この東西の交通網を形成していこう。

この五つを二期目でやっていこうという重点施策にしています。そんなことをやっているのが今のこの筑紫野市の主な事業でございます。それをずっと今やっているのですが、ここで皆さん方は、もうあんたの話はよかばいと、大概で教育の話ばしちやってんしゃいと思っただろうと思います。ね、思ってるでしょう。これ、大事なところは、まず市の憲法といわれるものから説いて、そして重点施策はこうですよということを説いて、それで皆さん方が考えてある教育の問題に入っていこうと。

私も昭和58年・59年、筑紫野中学校のPTA会長をやらせていただきました。皆さん方が多分悩んであることは、聞くとなるほどそういうこともあるよねというのは私の思いの中にはあるだろう。しかし、次代が随分進んできましたね、変化してきました。私の時代にはスマホなんかありませんでしたからね。今あれが大変なのでしょう。

それから、やっぱりだんだんそういうふうな人と人との気持ち、つながり、これ希薄化してきていますよね。だから共助社会をつくっていかなきゃいけないということになるのですよね。そういうふうなことも違ってきた点はあると思いますが、さて私ばかり長々と

話しても、あなたたちの話を聞く時間が少なくなつては申しわけないので、私はここら辺でやめさせていただきますが、和やかに、そしてせっかく1回目の移動市長室をしたのだから、思う存分あなたたちがおっしゃりたいことを聞かせていただいて、それを参考にし教育行政の中に取り入れていくと、こういうことをお約束できると思います。

以上で私の挨拶を終わります。よろしくお願ひします。

○（事務局） ありがとうございます。続きまして、さくらの会の代表の平木誠さんから御挨拶をよろしくお願ひします。

○（平木会長） 皆様、改めまして、こんばんは。筑紫野中学校PTA会長平木と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

本日は、藤田市長とさくらの会の交流会に御参加いただきましてまことにありがとうございます。この交流会は、今年で4回目を迎えますけれども、3年前に元二日市中学校PTA会長でいらっしゃいます滝会長が、市長との交流を図りたいというお考えで発足されたというふうに伺っております。

藤田市長におかれましては、公私ともにお忙しい中、今年度もまた本会への御参加、御出席いただきましてまことにありがとうございます。

○（藤田市長） ありがとうございます。

○（平木会長） なお、今年は先ほどから御説明がありますとおり、市役所担当者様より移動市長室として開催してみてもどうかという御提案を12月ごろにいただきまして、はいと、わかりましたと二つ返事で答えまして、そのあと担当者の方もそうですけれども、各中学校のPTA会長、あと役員の皆様にいろいろ御迷惑をかけました。御協力いただきましてまことにありがとうございました。そのような経緯を踏まえて本日の開催に至っております。本日は、1時間の交流会とこの後に懇親会を予定しておりますので、そちらのほうまでしっかり皆さんおつき合いただければと思います。

市長にあられますとは、先ほどお話がありました筑紫野中学校の元PTA会長でもいらっしゃいますので、私たち現役の役員へのアドバイス、もしくは現在の教育に関する市長の思いなどをしっかりと伺いまして、来年度によりよく引き継ぐために、この後の活発な意見交換をしていただければと思います。短い時間ではありますが、どうぞよろしくお願ひいたします。

○（事務局） ありがとうございます。それでは、自己紹介に移らせていただきます。本日は、司会を務めさせていただきます企画政策部の宗貞です。よろしくお願ひします。

○（上野教育長） 皆さんこんばんは。教育長をしております上野二三夫と申します。今日は一つよろしく申し上げます。

○（事務局） 秘書広報課広報広聴担当係長の森田です。

○（事務局） 同じく秘書広報課広報広聴担当の末吉です。

○（事務局） 市長、教育長以下担当3名、合計5人で参っております。どうぞよろしく申し上げます。

それでは、活動報告に移らせていただきます。この中で本日参加していただいている方の自己紹介も兼ねていただきたいと思います。お手元に配っておりますA3の資料、この資料に沿って筑紫野中学校PTAの平木会長から順に話をさせていただければと思いますので、どうぞよろしく申し上げます。

○（平木会長） はい。それでは、筑紫野中学校からまいります。お手元のA3の資料ですね。アンケートを各学校のほうに取らせていただきまして、そちらをまとめた内容になっております。主に、活動の内容と記載してあるとおりののですが、幾つか補足をさせていただきます。

筑紫野中学校に関しましては、私は今年のスローガンを、筑中を楽しもう、みんなで楽しもうというふうに考えています。その中に、保護者もそうです。教師も生徒もちろんそんなのですが、そこに後から書き忘れたなどと思ひまして、地域の方々も含めて、みんなで筑中を盛り上げて楽しんでいこうというふうに今年取り組んでおります。

その中で、筑紫野中学校は今年コミュニティ・スクール4年目を迎えております。今後力を入れていきたいところの二つ目にありますけれども、学校支援本部というのが筑紫野中学校では立ち上がっております、そちらのほうから代表をお願いして運営委員会のほうに出席をいただいたり、逆に支援本部の事務局会に私のほうに出席をさせていただいたりして、いわゆる地域との交流、PTAと地域の交流というところを図っております。

現時点で、学校支援本部、ボランティアの方々70名ほどいらっしゃいまして、各諸行事など学校行事、土曜勉強会などありますけれども、そちらのほうに御協力をいただいているような形になります。

その中で一番大きなところ、活動内容ですが、11月5日に友愛セールがありまして、これは毎年筑紫野中学校で開催しております。本年度実施しました友愛セールが32回目になりまして、その中で収益が上がった分がありますので、そちらを今年も生徒のためのテントを買いましょうと。もしくは卒業記念品などのところに収益を充てており

まして、いわゆる生徒への還元というところで地域と一緒に今年も頑張ってもらいます。これは、来年もしっかり引き継いでいければなというふうに思っております。筑紫野中学校からは以上です。

○（事務局） ありがとうございます。後ほど、この活動をどういうふうに、もうちょっと具体的に聞きたいということであれば、皆様から聞く時間をとりたいと思いますので、よろしく願います。それでは、筑紫野南中学校の前田会長からよろしく願います。

○（前田会長） いつもお世話になっております。筑紫野南中学校PTA会長の前田と申します。

一通り書いてあることに、ちょっとつけ加えさせていただくとすると、まず活動に当たり大切にしていることを箇条書きで出させていただいているのですが、あくまでも筑紫野南中学校のPTAはあまり表に出ない。子どもたちの活動、先生方との活動を後ろからバックアップするサポーターとして活動をしています。

子どもたちが自由に楽しく学べる環境として、取り巻く大人同士の相互理解関係、これは先生方も含めて大人という扱いをしています。なので、どうしてもPTAと先生方が分かれてしまっていることが多々あるので、先生もPTAの一員なんだということを常々私のほうからは申し上げております。

活動する上での課題としては、先ほどもちらっとお話が出たのですが、なかなか保護者の行動が、モラルとか倫理観が自己中心型になってきまして、自分の子どもと自分のためだったら動くのだけど他の子どものことはなかなか協力できないということで、参観は来るのだけど懇談には出ないとか、催し物には子どもたちのバックアップはするけれどもさっさと帰るとかそういった形が多々見られて、活動してくださっている方はもちろんいらっしゃるのですが、なかなか同じ方ばかりというところが問題になっています。

保護者の理解と参加率をどう上げるかというのが課題ということになっています。それも含めて今後力を入れていきたいところなのですが、子どもたちを大人扱いする大人、保護者が多いのです。ただ、まだ13歳から15歳、まだまだ母親から見たら子どもなのですが、もう大人だからと子どもたちの自由にさせているところがあって、その中で先ほど言ったSNS、インターネット、スマホを与えっ放しの保護者が多い。

その中で、どういった問題が起きているのかには無関心という部分があって、もう道具としてあるのは当たり前なので、今さら禁止しても皆さん持っているのです。小学校の低学年から持ち始めているということを知っていて、年々持っている率が上がってきているので、

もう持っているのが当たり前として大人も一緒に学んでいかなければいけないことになっているのじゃないかなということで、今後力を入れていきたいのは、そういったインターネットからいかに子どもを守るか、大人にどう知らせめるか、いうところを関係していきたいと思っています。

それと踏まえて、SNS、インターネット以外に地域全体の見守りも必要だということで、これはコミュニティ・スクールが始まったというのもあるのですが、地域のおじいちゃん・おばあちゃんも地元の子どものじゃない方がほとんどなのですね。新興住宅地というところもあって、皆さんの地元は他にあるのです。子どもだけが学校が母校になるというので、母校に対する愛着もなかなか得られないところがあるので、地域全体で地元の学校なんだというところを知らしめていく、協力していただくという関係づくりをしていかなければと思っています。これはもちろん、学校との協力をしながらPTAができることをしていくということになります。

そういったことで、先ほど共助という話が出たのですが、私はPTA総会するときにも保護者の皆さんにも自助と共助というものがあるとそういうお話もしたのですが、いかんせん無関心、会場に来てくださっている方はいいのです。来ない方にどう伝えるかというところがもう課題になっているというところがあります。今こういった活動をしています。

活動日と活動内容については、あまり詳しいことを書いてないのですけれども、まず挨拶運動としては委員会とクラス単位で週単位に分けています。必ず誰かが立つようお願いをしています。

メディア宣言については、先ほどもSNS、インターネットの部分とあと市Pですといったものを継続しているのですが、あまりにもこれじゃ通用しないということで、今回は生徒会を巻き込んで次年度子どもたちからどういうことができるかというのを話し合っ出ていこうという、大人を規制するのではなく子どもたちの中で自分たちから規制をしていくというか、見直していくということをしていきたいと思っています。

地域の安全パトロールは、御覧になったとおりになります。

あと3校校区の子どもを守る安全会議というのを、これは筑紫東小学校と原田小学校、筑紫野南中学校の3校校区の区長さんとか指導員・保護司の方とかにも来ていただいているのですが、その会議が毎年6月ごろに行われまして、今年度は6月28日に行いました。

あと、愛校作業は8月20日に行っています。

12月に門松づくりなのですが、これは午後に学校のお父様方の有志の方とあと部活動

の子たちでつくってもらっていきまして、昨年度は市報の表紙を飾らせていただいて、あのときは地域で皆さんに声をかけて、小学校も一緒にしたという大きなものにもしたのですが、今年はまたちょっとこぢんまりと中学校のほうだけでしたのですけれども、PTAとしては豚汁とお父様方におにぎりを用意しました。

来年度の予定としては、友愛セールが2年に1回の開催で、これも地域とどう絡めていくかというところをたいま検討中であります。以上です。

○（事務局） ありがとうございます。それでは、続いて筑山中学校の小田会長よろしくお祈いします。

○（小田会長） それでは、筑山中学校の小田でございます。よろしくお祈いします。

いろいろと書かせていただいておりますけれども、活動に当たって大切にしたいことというのは、ここ二、三年のスローガンであります、できることをできる人ができるときにということでやらせていただいておりますけれども、そこに今年のテーマとして“わ”っというのを掲げて、どんな意味でもいいので、その輪・和に対して大切にそれをみんなに返すということを、1人が返せばそれがどんどん活動として広がっていくだろうというふうを考えさせていただきまして、保護者、先生方、地域の方々、そこがきちんと協力をしていけるような活動をしたいと思っています。

うちも確かに先生の垣根というのはちょっとあったような気もするのですが、私が人使いの荒い会長なので、先生を巻き込んであれもしてこれもしてというふうにするので、反対に先生方のこともちょっとお手伝いができるようになって、いろんな行事に関しては少し効率がよくなっているとか、少し人が増えたというようなことはできてきたかなというふうには思っています。

課題なのですけれども、そうは言いましても行事に参加していただく方の片寄りというのはかなり大きいものがありますし、何でかなと思ったときにやっぱり活動そのものの垣根が高かったり、周知をやっぱりできてないなというところがやっぱりあると思いますので、活動を知らせる、参加していただくというためには広報活動が要るのじゃないかなというふうには思って書かせていただいております。

また、やはりラインとかその辺の環境に関しては、うちは高校生の子どもを含めてスマホを持ってないのですけれども、それでもかなり苦しいみたいで、いろいろと買ってくれ買ってくれっていう形があるのでそろそろ折れようかなと思いますが、やっぱりそこに関して、自分はあまりやってないので怖さというのもあまりわからない。先生なんか言われ

ていることがいまいちぴんときてなかったのですが、やっぱりいざ、ちょっと知るとこれはちょっといかなんということがやっぱり出てくるからですね。そこに関しては、これもやっぱり学校でお呼びしたときに出ていただける保護者の方が非常に少ないので、危機感というところがやっぱり自分を含めて欠けているのだろうと思いますから、今後そこに関してはどんどん入って行って、一緒にやれるということでもうまいやり方を見つけて、共存するという方向でいきたいなというふうに思っています。

今後ですけれども、おかげさまで筑山中学校は地域との連携は非常にいいというふうに評価をしていただいておりますので、そこに関しては継続をしていきたいと。

あと、自分が会長をして、生徒と余り関わってないなというのがちょっと1年間の反省でありまして、意外と生徒一人一人が見えてないなという感じになったので、生徒会とかその辺とうまくつき合って、またPTAプラス生徒という形で活動していければいいなというふうにちょっと思っております。

活動としては、日常的な挨拶運動であったり、花いっぱい運動ということで花をいっぱい飾らせていただいております。

あと、地域の連携としては防犯パトロールであったり、小学校含めた3校の交流会をやらせていただいたり、あと年末に関しては門松づくり、これ、今年筑山中学校は70周年を迎えますので、普段3.5メートルで多分筑紫野市一高いのを建てているのですが、校長先生の御提案で4メートルにしました。信号に当たるかと思いましたが、本当にすごいものができたなというふうに思っています。

1月のほうげんぎょうに関しましては、市長、教育長にも御参加をいただきまして、本当にありがとうございました。あそこで市長の檄をいただきまして、生徒がかなりぴしっとしたというふうに思っております。おかげさまをもちまして、この間広報紙の表紙でほうげんぎょうの焚き上げの瞬間を載せていただきましたので、あのような気持ちでみんなで頑張っていきたいなというふうに思っている次第です。以上で終わります。ありがとうございました。

○（事務局） ありがとうございました。続きまして、二日市中学校の番園会長よろしくお願ひします。

○（番園会長） こんばんは。私たち二日市中学校、活動に当たり大切にしていることは載せてあるとおり、会員の皆様への正確な情報を発信していくということ、また、本部一同、保護者の代表としての自覚を持って活動しているということがあります。

中でも、私とはとにかく率先して動くということを心がけております。仕事上の問題等はさておきながらも、とにかく学校に関わっていききたい、子どもたちに関わっていききたいという形で、それを信条に頑張っております。

活動する上での課題というのが、PTA会員の皆様への御理解、また会議の短縮ということで書かせていただいておりますが、PTA会員への御理解というところでは、いろいろ行事等ありますけども、本当に楽しく、我々は楽しく本部やっております。それでも、やっぱり先々まで伝わってないというのはあると思います。そこをまず、細かく周知していったって、PTA活動に楽しく参加していただけるということを課題としてやっていきたいというふうに思っております。

また、会議の短縮という部分では、中学校はどうしても本部の会議、委員会等は夜あります。やっぱり先生方もお疲れのところ、ずっと残っていただいているというところもありますし、本当に短縮してきれいに時間を使って、時間内に終わるというところを目標に、司会のここに幸野さんが副会長でいるのですけども、名司会が毎回仕切っていただいております。

先ほど本部の紹介もと言われていましたので、今日は7人中の4人参加していただいております。副会長の幸野さん、女子副会長の島田さん、会計の福永さんです。よろしく願います。

本題にまた入りたいと思いますけども、続きまして、今後力を入れていきたいところ、これは地域との連携、また生徒会との交流ということで書かせていただいております。

今年、コミュニティ・スクール立ち上げの年で、右往左往しながらという形だったのですけども、バザーに関してもすごく地域の方に協力していただきました。ことあるごとに地域の方が、やっぱり安全パトロールにしてもすごく協力していただいております。

そこはそことして、またもうちょっと掘り下げてというか、コミュニティ・スクール、どういうふうに学校としても協力していただける、地域も協力をしていくということも課題に上げながら、来期は進めてまいりたいと思います。

それとあと、生徒会との交流、生徒との交流ですね。これは、やっぱり小田さんも言われていました。あまり生徒と関わりがなかったっていうところも踏まえて、来年もうちょっと生徒たちとの交流も増やしていければというふうに思っています。

活動日、活動内容というところでは、二日市中学校の今年のPTAスローガンは、見て感じよう、聞いて感じよう、心で感じよう、キャッチフレーズを、感動しよう、感動を伝

えようを合言葉に活動してまいりました。

1年間のPTA活動としては、先ほども言っていますけど、4月からの数回、ひまわりプロジェクトと題しまして、生徒会中心で平和の象徴、人権の花でありますひまわりを校内いっばいに咲かせよう、地域に咲かせようというプロジェクトを行っています。

8月には、恒例になりました感動の平和集会を開催しております。今年度は引き揚げをテーマに、123名の志願した生徒中心ですばらしい劇を演じてくれました。また、今年は8月6日が日曜日ということもありますので、ぜひ多くの方に本当に来ていただきたいと思っております。

11月には、またこれも恒例でございます友愛バザーを開催いたしました。今年はコミュニティ・スクール立ち上げの年ということもあり、地域の方々にすごく支援、先ほども言いましたが、支援していただきました。また、今年度は生徒会の企画でステージ発表という形で、楽器演奏とかいろいろ歌を歌ったりとか、いろんな自慢をする生徒を表に出させてやりました。これも大好評で、生徒も生き生きした姿を見せてくれて、大盛り上がりで終わりました。

他にも、毎月1回の夜間パトロール、朝の挨拶運動、見守り運動、委員研修会、生徒のボランティア活動を行ってまいりました。

ここで、広報という部分で年に3回PTA新聞というのをつくっております。それと同時に、PTAの新聞じゃなくて私、会長が独自で年に6回新聞をつくっております。すいません、これ自慢みたいな感じで。内容も全部私考えてつくっております。

来期も、子どもたちを第一に考えた活動と今後も素晴らしい二中であり続けていくために、先生方と連携を深めて本部一丸となって頑張ってみます。以上です。

○（事務局） 自己紹介もあわせてと言っていましたけど、すいません、終わってから願います。では、天拝中学校の手塚会長ほうからよろしく願います。

○（手塚会長） 天拝中学校の手塚です。よろしく願います。では、まず先に自己紹介のほうから。副会長の藤です。去年は二日市小学校で会長をしていました。女子副の洲濱と堀尾です。書記の石原、会計の保利です。今、6名で本部を執行しております。よろしく願います。

天拝中は、この表を見ていただくとすぐわかるとおり、生徒数がほかの学校に比べて約半分の、大体300名ぐらいです。大きさとすれば、小さいというよりもちょうどいい大きさかなと、小回りがきく大きさかなと思っております。

昨年度の6月からコミュニティ・スクールが始まりまして、2年目になりまして、ちょっと学校が、山口小学校校区のほうが田舎なので皆さん地域の方がかなり、保護者より参加、お手伝いをかなりいただいています。各区長さんに本当助けられて、コミュニティ・スクールが動いています。

西永校長先生のもと、とにかく子どもたちを学校の外に出そうということで、地域貢献活動で、子どもたちには必ず1回何か参加してくださいと。自分たちの地区の行事なり、よその行事なり、あと山口コミュニティセンターの行事にお手伝いという形で、皆生徒が参加をしております。地域の方も、山口小学校もコミュニティ・スクールを始めていましたので、受け入れのほうはスムーズに動いています。

やはり、課題に書いてあるのですけども、なかなか保護者の参加というのが難しいなど。大体、手伝っていただける方というのはもう決まってきましたし、かなり地域の方のほうが多くいろいろ協力をもたらしているので、逆に申しわけないような、保護者としてはですね。

いかに保護者の方をどんどん巻き込んでいくかという形を今後とっていきたいなと思っています。特に、今後は力入れたいというのが、学校の外に出てもらって、学校じゃ学べないことを学んでもらおうと。

活動内容にも載っているのですけども、去年夏祭り、上古賀とむさしヶ丘と湯町にPTAの模擬店を出しまして、湯町の夏祭りのときにケーブルステーション福岡の取材を子どもたちが受けて、一生懸命綿菓子を200以上売りました。

最初、つくり方を教えてあげて、後はもう後ろで見ていただけなのですけども、任せると子どもたちが責任持って、こっちがびっくりするぐらい一生懸命綿菓子をつくって販売していました。どうしても失敗すると、これはどうか自分たちで考えて、お客様に渡せないものと思えば自分たちでつくり直しますし、それ一切私たちが指示しなくても自分たちでこれちょっとまずいなっていうのはもうつくり直して、きれいなものをあげていました。

ある程度任せれば、子どもたちも自主的にやっていくと思いますし、どうしてもやっぱり私たち大人が後ろでちゃんと見てなきゃいけないのですけども、ある程度任せてあげれば責任持ってやってくれるなというのを本当実感しました。

今後もどんどん、地域活動ですね、出ていってもらって、さまざまな経験をしていただいて、また地域の方とつながりができてきますので、どんどん挨拶運動だとか、子どもたちのほうから地域の方にできればなと思っております。

あと、活動日、活動内容なのですけども、毎月PTAと役員会の委員会を行っています。

毎月通学路での登校指導というのと、天拝中学校校区には中学校のすぐ隣にイオンがありまして、大きな商業施設ということで、夏休みの間、保護者の方に毎日、月曜日から金曜日、夕方パトロールをしてもらっています。

毎週末金曜日には、保護者にしてもらうのは夕方、大体15時から17時の間、毎週末の金曜日、夜、20時からPTAと学校の先生たちと一緒にパトロールをしています。

大人たちが見ているよということを意識づけさせれば、やっぱり子どもたちも見られている、守られているというのを実感していただければ、そう悪いこともしない、できないかなと思います。

実際、夜パトロールに回っていても、ほとんど子どももいないし、高校生らしき年代の子もたむろしているとかそういうのはないですね。逆に、昔に比べれば、言い方おかしいですけど悪そうっていうんですか、そういうのはなかなかないと。

あと、ドンキホーテも去年できたのですが、何の問題もなく、最初できるときはどうしても地域の方からかなり心配の声上がっていたのですが、ほぼ学校にはそういう苦情なり何か事件があったっていう連絡は来ておりません。

やはり大人たちが常に見ていると。また、地域の方も見守り隊員だとか夜間パトロールに参加していただいていますので、かなり防犯には役立っているかなと思っております。

それと、先ほど3行政区ですね、上古賀、むさしヶ丘、湯町、PTAの夏祭りの模擬店を出したのですが、これも今天拝中学校が9行政区ありますので、もう少しずつ増やして、行く行くは全行政地区に出せればかなと思ってはいますが、私らも3行政区、3カ所お手伝いに行ったのですが体力的にかなり厳しいので、いろんな保護者に参加してもらって、どうしても地区委員の方に率先してお手伝いしてもらっているのですが、地区委員以外の方にどんどん参加してもらってお手伝いしてもらいたいと。自分たちの子どもが意外としっかりやっているよというのを見せてあげたいかなと思っております。

それとあと、今年11月19日、ちょっと雨で短いコースになってしまったのですが、全校生徒で、本来のコースは、天拝山からずっと山づたいに天拝湖公園へ向けておりてくるというコースだったのですが、ちょっと雨で道が悪いということで、平等寺線ですっと上がって行って、天拝湖公園まで行ってまた帰ってくる。短い距離でしたけども、鍛練遠足ということで全生徒が参加しております。

これは、校長先生、教頭先生、学校側も学校の一つの行事として残していきたい、続けていきたいと思っていますので、来年はちょっと友愛セールがあるので、あわせて短い

コースにはなるのですが、ないときは長いコースでいきたいなと思っています。ちょうど11月ですと、子どもたちも大体中体連も夏で終わっていますし、特に3年生がやっぱり体動かす機会がないので。

このときは雨上がりで、天拝湖公園がほとんど他の子どもたちがいなくて、もうほとんど天拝中の貸し切り状態で、一番騒いでいたのは中学校3年生の子たちが、雨上がりでもう全身ずぶ濡れになって遊んでいました。そういう機会を子どもたちに与えるということで、また受験前にちょっと体を鍛えて受験に挑んでもらおうという考えで今回は行いました。以上、天拝中学校です。

○（事務局） ありがとうございます。では、自己紹介を。

○（平木会長） それでは、時間も余りないので。筑紫野中学校PTA副会長高木さんです。女子副会長、藤丸さんと杉森さんです。それと、書記の樋渡さんです。会計の戸田さんです。もう1名、男子副会長がいるのですが、岡本ですね。今日、先ほどお話ししました支援本部の会議がありますので、そちらのほうに出席しております。以上です。

○（事務局） ありがとうございます。

○（前田会長） 筑紫野南中学校の会長の前田凡子と申します。回します。

○（筑紫野南中学校） 皆さん、こんばんは。副会長の羽野和之と申します。よろしく願いします。

○（筑紫野南中学校） こんばんは。女子副会長の森山といいます。よろしく願いします。

○（前田会長） 以上3名です。

○（小田会長） 筑山です。回しません。副会長の森木さんです。同じく副会長、宮本さん。同じく副会長、黒岩さん。書記の佐藤さん。書記の石橋さん。会計の穴井さんです。もう1人会計がいるのですが、今日はどうしてもちょっと用事がありまして欠席しております。よろしく願いします。

○（事務局） 活動報告をいただき、ありがとうございます。それですね、どうしても私がやっぱり目にとまるのは課題のところ、保護者の理解、あるいは参加率をどう上げるかとか、あるいはどう保護者の方に理解を得て参加していただくかとか、そういうところの課題の話がありました。

一方で、PTA活動を楽しんでもらいたいとか、ともに笑顔でとか、楽しく活動することが必要だという発言があってありました。まさに楽しく活動することが、あるいはPTAの活動が楽しいということが、保護者の参加を促す唯一の方法じゃないかなというよう

な感じを受けたところでございます。

そこで、今回のテーマにしていますPTA活動の魅力について、ちょっとお聞かせ願いたいと思いますが、PTAの魅力アップ、あるいはPTAの活動に参加してよかった、参加してこんなこと、いいことがあった、そういうふうな魅力について御意見を聞かせていただければと思いますけど、どなたかよろしいですか。

○（平木会長） 筑紫野中学校、平木です。PTAの魅力、私小学校3年間、引き続き中学校2年目で、計5年目、本部役員になりまして、その中で一番大きいのは、やはり人のつながりかなと思います。

他の学校の役員の方々もそうですけども、こうして市の担当者の方、市長を初め皆さんとこうしてお知り合いになれましてお話ができて、こういった交流ができるのが一番大きいかと思います。こういったところですね、結局定年して、歳をとってとなってくると、人と人のつながりというのは大事になってくると思いますので、こういったものをいわゆる本部経験がない方にお伝えして、もしくはそういった姿を子どもたちに見せることで、ああ、じゃあちょっとやってみようかなっていうふうな思いになってもらえたら、ちょっとでもなってもらえたらいいかなと思って私は役員をやっております。

○（事務局） ありがとうございます。他に御意見等はございませんか。こんなところがいいんだ、うちのここが魅力なんだっていうところがあれば、よろしいですか。

○（手塚会長） PTA活動の魅力ということで私が書いたのですが、やはりコミュニティ・スクールとも関連してくるのですが、子どもたちの活動をすぐ近くで見られるというのがやっぱり一番かなと思います。

自分の子ばかり、自分の子どもの友だち、部活の先輩後輩というやっぱり知っている子がどんどん増えてきますし、その子たちがいろんな行事に参加してもらって、一生懸命体育会だとか文化発表会だとか、コミュニティ・スクールの地域貢献活動などをやってもらうというのが一番見られるということですね。どんどん成長をしているなっていう、どんどん大人に一歩ずつ近づいているなっていうのが実感できます。

あとは、やはり本当コミュニティ・スクールだ何だ、地域の方とつながりが、私も中学校の前は山口小学校で地区委員と会長をしていたのですが、かなりやっぱりちょっと田舎のほうなので、皆さんつながりが強い。だんだん顔なじみになってくるということで、たまにスーパーで会ったり、そういうときは挨拶したりということで、やはり顔を知ってもらえれば逆にいろんなことをお願いもしやすくなりますし、逆に地域からのお願いも聞

きやすくなるので、そこが最大の魅力かなと思っております。

○（事務局） ありがとうございます。他にございますでしょうか。

○（番園会長） 本当、お二人が言われたことがもう全てだと私も思っております。

先ほども、私お話をさせていただいたのですが、まず会長みずからが動くっていうことと理解を深めるために対話をしていくということ。そして、本部役員が同じ意見、同じ思いになれるように、会長みずからが行動するということ。また、安心して活動していただけるように強制はしない。お願いするときは、心を込めて感謝を伝えるようにというふうに心がけております。そういうところでしょうか。私の思いだけという形にはなっていると思いますが、本部の皆さんも、同じ思いになってあると思っております。以上です。

○（事務局） ありがとうございます。他に何かこういうところがいいんだというところがあれば、よろしいですか。

○（小田会長） 私としては、基本的には人ということで、皆さんが言ったように本当にそうだと思うのですが、私小学校のときは全く役員関係経験がありませんでしたので、中学で誘われたときにPTAの役員なんかなるもんじゃないっていうふうに皆さんからとめられたのですが、まあいいかなと思って引き受けたら、最終的に3年間いましたけど単純に面白いと。やるからには一生懸命やろうかなというふうになると、だんだん自分の気合いも入ってくるのですね。周りもあの手この手でちょっと知り合いを巻き込むとか、いろんなことはするとおもしろいのですが、それよりも先生方の思いであったり、地域の人のすごく献身的な話だったり、いろんなまとめてをしていただけるというようなものを間近で接していることができるというのは、ものすごく貴重な経験だったと思います。

もちろん、生徒がこのおっちゃん誰やっていうよりは、いっぱい今挨拶してくれるようになりましたので、いっぱい触れ合えるようになったのはよかったのですが、それよりもつながりができたってということと、自分の考えがちょっと、ほんのちょっと前よりプラス、前向きになったかなというところで、活動するに当たってはすごくその辺が魅力だなと思いますので、食わず嫌いの方々はやっぱりそこに触れていただきたいなというふうに思っております。

○（事務局） ありがとうございます。ちょっと時間ですけど、まだ。

○（前田会長） すいません。最後の挨拶があったので、私言わなくていいかなと思っていたのですが、活動の魅力ですが、このPTA活動の魅力という紙が皆様のお手元に配付されていますか。ああ、ないんですかね。実は、私のところは、一役員さんに率直な気持

ちを書いてと言ったのです。ちょっと読みます。

「思春期を迎えた息子を持つ親として、学校でのことが気になるのに、息子はあまり話をしてくれません。私が役員として学校に行くと、担任の先生から直接お話を聞くことができます。先生方の日ごろの丁寧な御指導を目の当たりにすると、感謝の気持ちも自然に沸いてきます。役員を経験させていただき、大人として学ぶことがとても多く、学校には親子で学ばせてもらっていると感謝しています」

もうこのことに尽きます。いろいろなことがあるのです。私も会長、小学校からだとちよっと長年しているのですけれども、一言で言うとPTA活動は財産をつくっていると思います。

最近耳にするのが、どうも職場社会になっていると。地域社会ではなく、職場に自分たちの社会があり、地域は寝るところだけなのですが、いざその職場がなくなってしまった後、地域にぽつんとくるとクレームが出てくるのですね。小学校、中学校うるさくてたまらんとか。でも、それは、やっぱり多分そこで過去にPTA活動をされていた方だったら、おう、よく頑張ったうねって思うと思うのです。だから、そういった人を1人でも多くつくりたい。なので、ぜひPTAに入ってくださいと。

自分たちがやらされているのじゃなくて、自分たちの地域の財産をつくって、仕事がなくなったときに、なくなったと言ったらおかしいのですが、定年したりしたときに、リタイアしたときに地域にも友だちが実はいるんだよねというのが一番の強みかなと。子どもの戻ってくるふるさともつくっていけるというのがいいかなと思っています。以上です。

○（事務局） ありがとうございます。聞いていて私も参加したくなるようないい話だなと思いました。上野教育長から何かございますか。

○（上野教育長） 失礼します。ちょっと時間がもう過ぎてしまいましたけども、簡単に話をさせていただきます。今日は本当にありがとうございました。それぞれの学校のPTA活動がどんなふうに行われているのか、またどういう内容のものかというのがよくわかりました。本当にありがとうございます。

そして、この役員の方々がそれぞれもうあと少しでこの年度終わろうとしていますけれども、やはり4月当初から夏場、そして秋口、そしてこの時期、役員さんたちそれぞれに成長された。また、使命感とかあるいは責任感とか、そういったものがますます沸いてきたという時期ではないかと感じています。本当にありがとうございます。

先ほど宗貞部長のほうから少しお話がありましたように、やっぱりどうしても中学校に

なりますとね、PTAの意識そのものがちょっとやっぱりダウンする、小学校に比べると。小学校のときは、やっぱり学校も知らなくちゃ、先生も知らなくちゃいけないということで、どうしてもお父さんお母さん方がもう熱心にやっぱり活動され、もちろん授業参観もそうですけれども、だんだん手が離れると親の意識も離れていって、中学校になるとなかなか参加ができにくい。

ですからやっぱり、先ほどの共通した悩みと言いましょうか、課題は、させられているところ、そういう意識から、したい、自分もやってみたいという、そこに切りかえる、そういう保護者の意識の改善と言いましょうか、意識の向上がやはりもう最たることじゃないかなという気がいたしました。やっぱりやらされているという感じがどこかにあります。

でも、やってみたらこんなにすごいよというところ、先ほどお話がありましたけれども、役員をするとぱっと言って五つぐらい利点があるのですよね。ちょっと言ってみましょうか。まず、知り合いが増えるということ。二つ目、さまざまな情報が入るということ。三つ目、学校の様子がわかるということ。四つ目、子どもと近づけるとということ。最後五つ目、先生との関係が深まるということですね。

これだけでも、やはり経験されると、皆さんうなずいてありますけれども、やっぱり、ああ、そうなんだと。これは、子どもさんたちは見ているのですよ、お父さん・お母さんたちのそのPTA役員になられてからの動きを、動きとして、成長されている姿を。子どもはあまり言いませんけどやっぱり見ているのです。

ですから、そういった意味で気持ちの中では拍手していると思います。ですから、自信持ってやっていただいて構わない。むしろ、また来年も頑張るぞって言えば無下に断ることはないと思うのですね。特に番園会長さん、年6回新聞をとってあった。

○（番園会長） はい。

○（上野教育長） これなんか年6回ですか。二月に1回。

○（番園会長） はい。

○（上野教育長） いやあ、これだけでもやっぱりすごいな。やっぱり会長みずから動くというのをモットーにされているようで、本当にありがたいなと思いますけれども、やっぱり今言いましたように、やらされているところから自分がやりたいなという気持ちにどうやって切りかえたらいいか。

そのためには、やっぱり幾つか方法あると思うのですけど、PTA広報の活動の中に大

きな行事があるときに、例えば何時から何人協力してくださいじゃなくて、そのあたりも工夫をやっぱり一つやってみる。先着30名様にはこんな恩典がありますよとかですね。あるいは子どもさん何人までは御褒美というか何かありますよとか、何かキャッチフレーズをうまくしていきながら呼びかけると、全然反応が違うと思うのですね。

実際、そういうことをやってある学校も他地区にあるのですが、多分うちの11小学校もいろんな手をかえ品をかえていろんな案内をされていると思うのですが、ぜひともそういう校区の小学校の連携をとりながら、いろんな広報関係でどんな工夫をされているかというのをぜひ尋ねていただいたら、かなりいろいろな情報が入ってくるのじゃないかと思います。

本当に今日はいろいろと私自身勉強させていただきました。コミュニティ・スクールも来年度から、16小中学校全部一斉にまたスタートする形になります。本当に、子どもたちが地域の方と仲よくなるのはいいのですが、その反面、保護者がちょっと存在が薄くなるのですよ。先ほど天拝中の会長さん言われましたように、地域の方たちと子どもたちはものすごく仲よくなるのですが、やっぱり保護者の方たちがちょっと手を抜くとかそういうところがあって、保護者も巻き込んだ形になる地域貢献活動というのをまたこれからしていただくと、大変ありがたいなと思っています。

お願いと感想を言わせていただきました。ありがとうございました。

○（藤田市長） 皆さん方のお話を聞かせてもらって、前回3回やった懇談会とまた違った内容の非常に濃いお話を聞かせてもらって、私も感動を覚えたというところです。

筑山が70周年とおっしゃいましたように、二日市と筑山と、それから筑紫野と天拝、そして筑紫野南ができた、そういう中学校の歴史がございます。

私もPTA会長をさせてもらったという話を先にさせてもらいましたね。PTAでいったら何かいな？と、なんでこんなところに私が没頭して汗を流さないといけないかな？と、私自身そんなふうに思いました。

そのくらいぐらい、世間とはちょっと一味も二味も違う、こせこせした、重箱の隅をつつくような小さい話題もあってなかなか会議が収まらない。もう時間なんていうのは不規則きわまる、そんなのはたくさん経験しました。

私のときは4中でしたので、とにかく4中の会長でちょっとスクラムを組もうと、何とかして乗り切ろうと思って、しょっちゅうやっぱり集合かけて酒を飲んでいましたね。

しかしね、この会長さんたちのお話を聞いていても、本部がやっぱり楽しまないといけ

ない、このことに尽きるのじゃないかなと思いますね。本部がしっかりして楽しむ、そういう空気ができたら自然と雪解けになってくるような気がしました。

それと、やっぱり会議は夜になることがあるわけです。なりますけど、なるだけ女性の役員さん多いわけですから、そういう方たちのためになるだけ時間、会議は短く。そして今前田会長の話の中にもありましたように、自分のための財産をつくるということがやっぱり大事なのですね。

私、いまだに子どもはもう大きくなっております。しかし、まだ私はPTAです。いや、それがですね、やっぱりそれぞれそのときのこのメンバーが、それぞれにもっとも責任ある社会人に成長して行かれるのです。その根底をずっとひもといてみますと、ああ、あのときのあの人たちとの御縁が今私を育ててくれているなと思うことがたくさんございます。

今は、皆さん大変でしょう。しかし、あのときの副会長同士で女性はつながっていく。会長同士で男性はつながっていく。会長・副会長で子どもを中心としたそのPTAの中で自分が育っていくのですね。それは不思議なものです。皆さん方も、まだお若いですけどね、だんだんお年を召されていきますが、あるときに、ああ、あの人とあのとき苦しい思いをしたけど、あんなことがあってよかったなあって思うようなころがきつと来るであろうと思っています。

来年も、できたら移動市長室をしたいと思いますがね、来年はまた変わった話をします。期待して来年も参加してください。いやね、皆さん楽しくやりましょう、ね。悩んだらいいけませんよ、楽しくやりましょう。しかし、悩むことで成長するのですよね、これもまた不思議ですね。この次の続きは来年します。どうも今日はありがとうございました。

○（事務局） 最後になりましたけども、次年度、さくらの会の幹事をされる前田会長のほうから最後の締めの挨拶をお願いします。

○（前田会長） すいません。来年度、先ほどのお話だと移動市長室になるのですかね。

○（藤田市長） 前田会長。

○（前田会長） はい。

○（藤田市長） あなたがせんて言ったらもうされません。

○（前田会長） ありがとうございます。この大先輩を迎えての移動市長室の来年度の幹事校となります筑紫野南中学校です。

今日は皆さん、本当にお忙しい中に来ていただきましてありがとうございます。そして、

テーマがPTA活動の魅力というテーマというのは、今までいろんな会合に出ていますが、このテーマでこういう話をしたことは恐らくないんじゃないかなと思います。なので、とてもいいお話をしていただけたのかなと思っています。私も勉強になりました。

私事ですけれども、私は会長として、絶対知りあわないようなお父様方ととても仲よくさせていただいている、それも財産だと思います。なので、ぜひ本部の方も来年どうなるかというのはまだ発表ができないと思いますけれども、いろんなところで活動していただけたらなと思います。

今日は本当に、藤田市長、そして上野教育長、そして皆様、ありがとうございました。今日はどうもありがとうございました。

- （事務局） 短時間ではございましたけれども、内容の濃い懇談になったかなと思います。皆様に発言する機会を与えることができなくて非常に申しわけございませんでした。これで移動市長室を締めさせていただきたいと思います。どうもありがとうございました。